

“街道テクテク・甲州道中” No.3 (2018-11-18)

参加者：芦田拓也、荒木義修、碓貴臣、大田黒鐵彦、太田哲夫、大山敏雄、後藤幸子、佐熊範和、染谷みどり、黛政男、矢崎文彦、山岸任、木村芳一

行程：つつじヶ丘→府中 9km

つつじヶ丘駅→金子のイチョウ（調布市天然記念物）→金龍寺→妙円地藏→金剛夜叉明王→稲荷神社→國領神社（樹齢 4～500 年の御神木・千年藤）→常性寺→蓮慶寺→布多天神社（この地の木綿織の発祥、調布市内最古の狛犬）→八幡神社（三体の獅子頭）→常演寺→金山彦神社（鍛冶師の守護神）→源正寺→西光寺（近藤勇の座像）→飛田給薬師堂→観音院→神明社→下染屋村（てづくり（調）布を染めたところ）→染屋不動尊（国重文の金銅製阿弥陀如来立像が本尊）→上染屋村（てづくり（調）布を染めたところ）→八幡神社→普門寺（目の薬師如来）→大國魂神社（武蔵国総社、鎮守）→府中駅近くの“北の家族”で反省会

・天気は曇りで、暑くも寒くもなく、歩くには快適でした。見所が多く、歩行距離は予定より短くなりました。

・“調布”とは、租税（調、みつき）の一つとして宮に納める手織りの（麻）布とのことですが、この辺りには布に絡んだ名前の神社仏閣、地名が多くありました。例えば、布多天神社、染屋不動尊、下布田宿、上布田宿、下染屋村、上染屋村等です。

・今回の道は南約 2km にある多摩川に沿っています。昔の多摩川は洪水になることが多く、そのためにそのほとりにあった國領神社、常性寺、布田天神社、八幡神社等は現在の場所に移転されたとのこと。

・最後に寄りました、大きな敷地を持つ大國魂神社は武蔵国総社で、武蔵国の一之宮から六之宮の神様が合祀され、その大神は出雲の大国主大神と同神とのこと。特に、5/3～6 のくらやみ祭りは東京都指定無形文化財になっており、5/5 は 8 基のみこしと 6 張の太鼓が担ぎ出されるとのことです。機会があれば是非見たいものです。（木村芳一）

